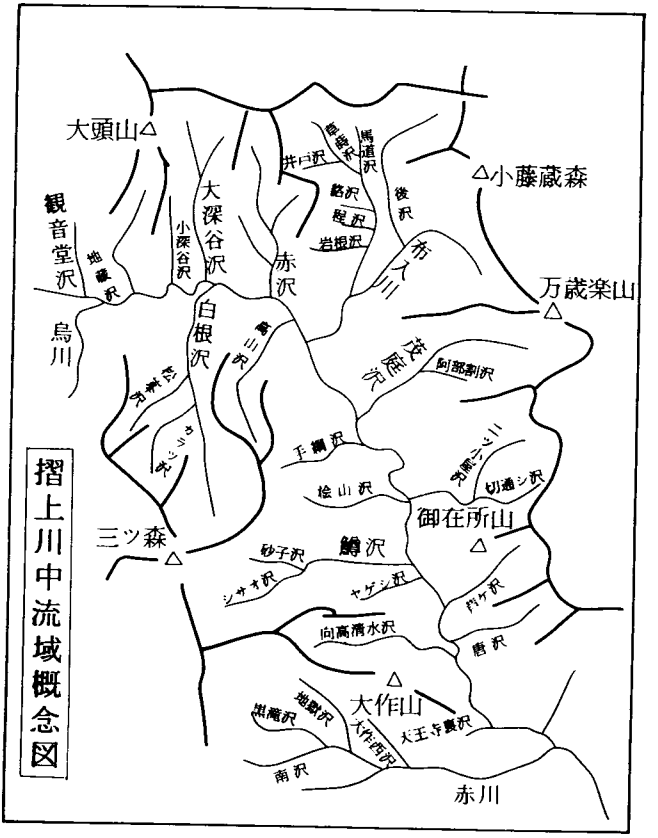
摺上川中流域

烏川、中津川、中ノ沢、観音堂沢などの大支流が合わさると、摺上川は大きな流れとなり、南流する。ここまでくると、川ぞいの低地や河岸段丘上に、集落も開けてくる。

このあたり摺上川本流は、全体として、あまり落差のないゆるやかな流れとなっている。それでも、せせらぎの聞こえる河原があるかと思えば、瀬や深い淵があり、あるいは深い峡谷をを刻むなど、渓相はなおも変化に富んでいる。こうした所は、釣や行楽にはなかなか興味深いが、沢登りの対象にはなりがたい。

この地域で沢登りの対象となるのは、本流に注ぐ支沢である。集落が開けているとはいっても、まだ山深いこの地域である。本流ぞいのわずかな部分を除けば、あとは完全に山地。そこを流れ下る支沢には、なかなか興味深いものもある。

この地域は、本流にそって国道三九九号線が走っていることもあって、車をフルに活用して入谷することができる。



摺上川中流域概念図